

「建国記念の日」を考える

東アジアの平和をめぐる状況と課題——私たちにできること

佐々木寛 (新潟国際情報大学)

1. はじめに —— 2012年12月の衆議院選挙について

政治不信・争点の喪失・「政治」の融解・「リスク政治」の顕在化・

2. 「空っぽの日本」を埋める「空っぽのナショナリズム」

2-1. 忘却の政治（歴史認識問題の根幹）

2-2. 現象としての「維新の会」

2-3. 自民党「再・逆コース」政策の意味

3. 東アジア諸国危機の現状と、政治としての〈領土問題〉

3-1. 中国・ロシア・北朝鮮・韓国・台湾・ASEAN 諸国…そしてアメリカ

3-2. 〈領土問題〉の構造（つくりだされる「脅威」）※ 最終解決＝戦争という現実

3-3. 取り残される私たち

4. “置き去りにされるもの”の視点から

4-1. 歴史——植民地主義の歴史・「3・11」の経験

4-2. 周辺世界——被災地と沖縄、そしてアジア

4-3. 生活——食・環境・子育て（教育）・地域社会（コミュニティ）・ケア…

5. おわりに —— これからの平和のために私たちにできること

～「自民党後」の世界に備えて。

生活からの再出発——自律的共同性の探求

「政治」の回復・争点の回復・「リスク」／「安全」の再定義

(→「国境」／「領土」・「愛国」・「民主主義」…「文明」の再定義)